

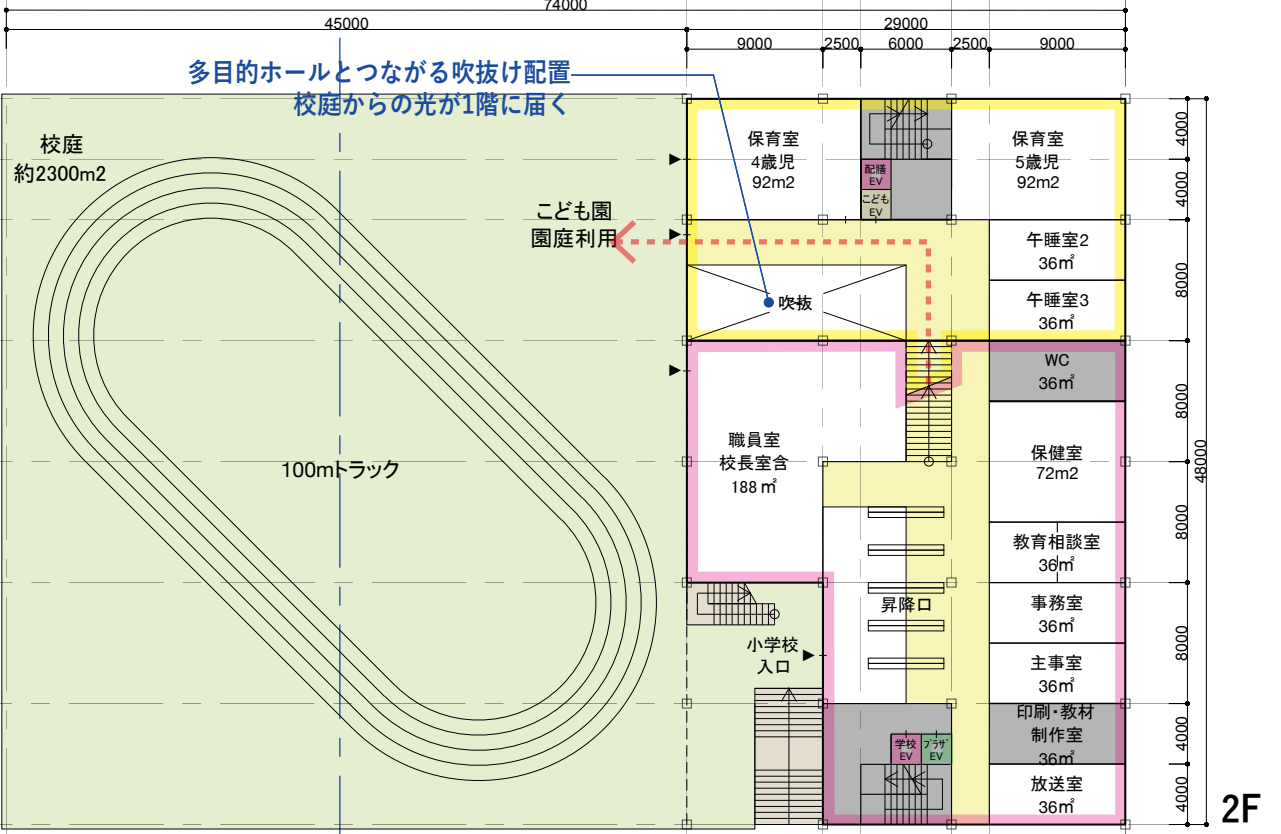
本資料は、基本計画において示す整備後の施設に必要な機能配置や面積等を検証するために、建物全体のプランに諸室の内容を落とし込んだものです。具体的な設計内容は、この基本計画における整理を踏まえて、改めて設計の段階（基本設計・実施設計）において確定していきます。

矩形東案② (S=1:500)

- こども園計画の見直し。1階～2階+校庭までを一体的な空間とする。
- メディアセンター(図書室)と子どもプラザをを階高の高い7階に配置し、生徒の活動のコアに位置づける。
- 2階～7階までを屋外テラス+階段で連続させ、施設全体に「公園+学校」の特徴を広げる。

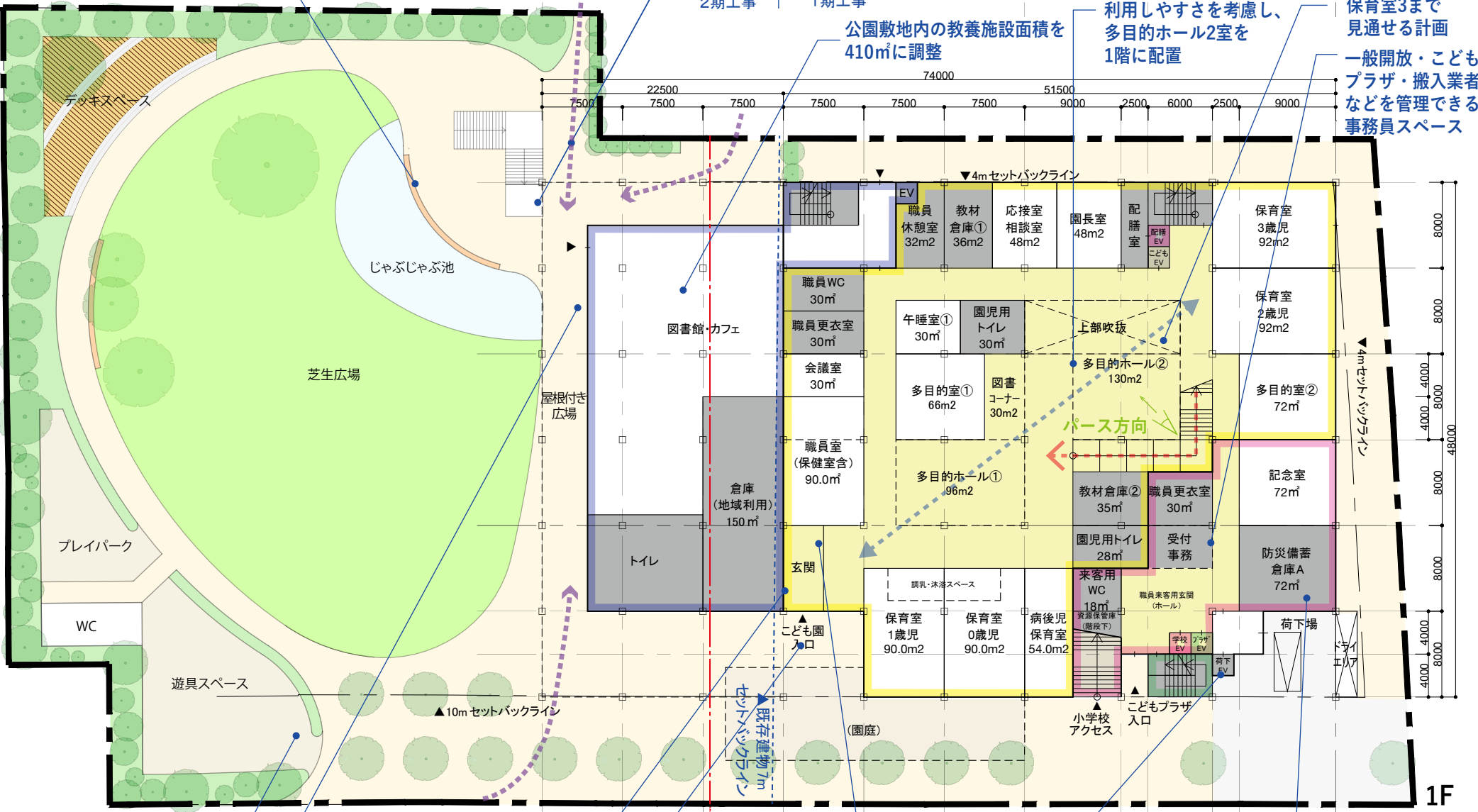
面積表	本案	既存施設
小学校	10,620 m ²	7,500 m ²
こども園	2,230 m ²	1,700 m ²
こどもプラザ	2,300 m ²	1,200 m ²
公園施設・地域利用等	1,020 m ²	1,200 m ²
合計	16,170 m ²	11,600 m ²

※面積は概算のため共用部按分は行っていません(主に小学校に含まれます)。



じゃぶじゃぶ池は、現在の和泉公園と同等の大きさを確保 (約150m²)

南北の通り抜けと病院への動線を阻害しない位置に校庭と公園をつなぐ階段を配置

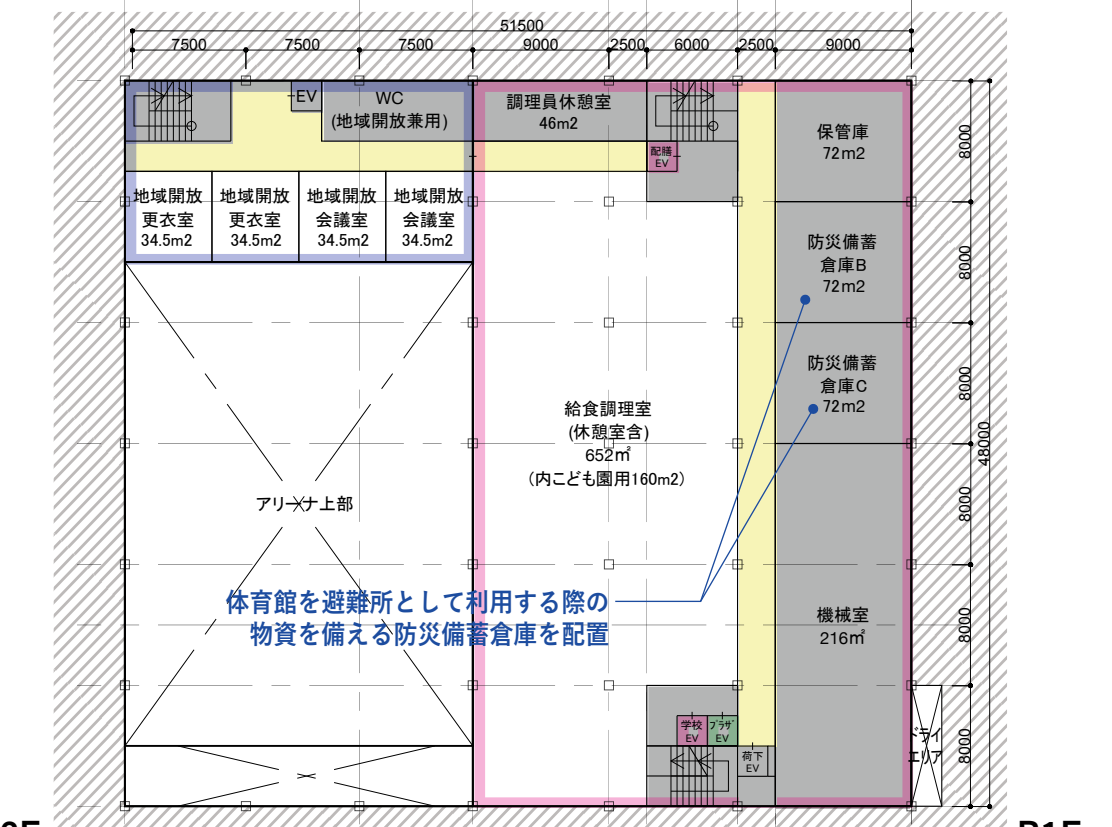
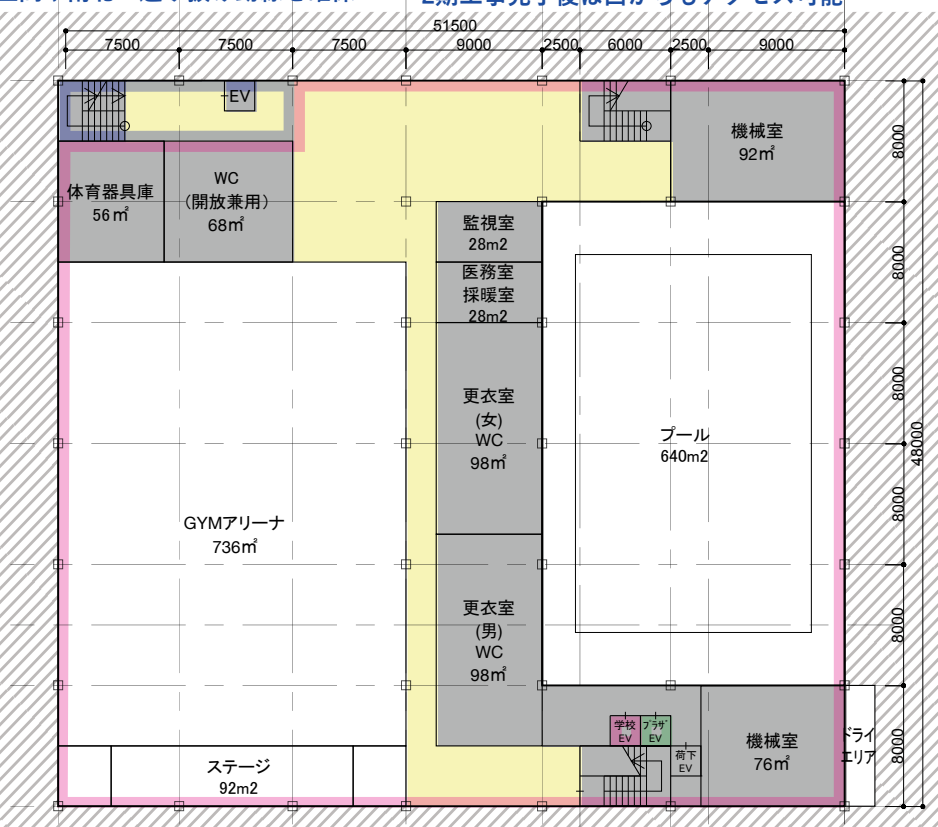


入口付近に遊具スペースを配置し、活気のあるエントランスを創出
大きな屋根付き広場下に滞留空間や南北の通り抜け動線を確保

地域イベントで使用する器具の収納を想定した地域利用の器具庫を配置
1期工事中は南からアクセス
2期工事完了後は西からもアクセス可能

玄関空間を広く確保し、視認性の高い位置に職員室を配置

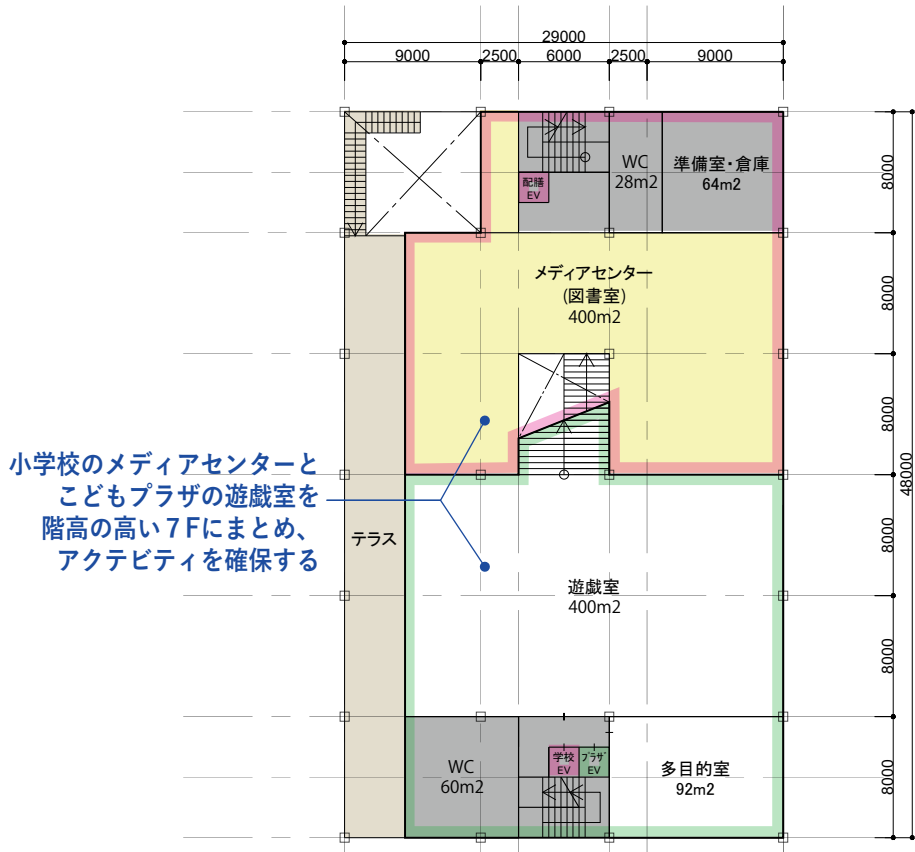
荷下ろし用EVはバックヤード動線とし、表動線と明確に分離
災害時に公園で展開しやすい物資を備える防災備蓄倉庫を配置



体育館を避難所として利用する際の物資を備える防災備蓄倉庫を配置

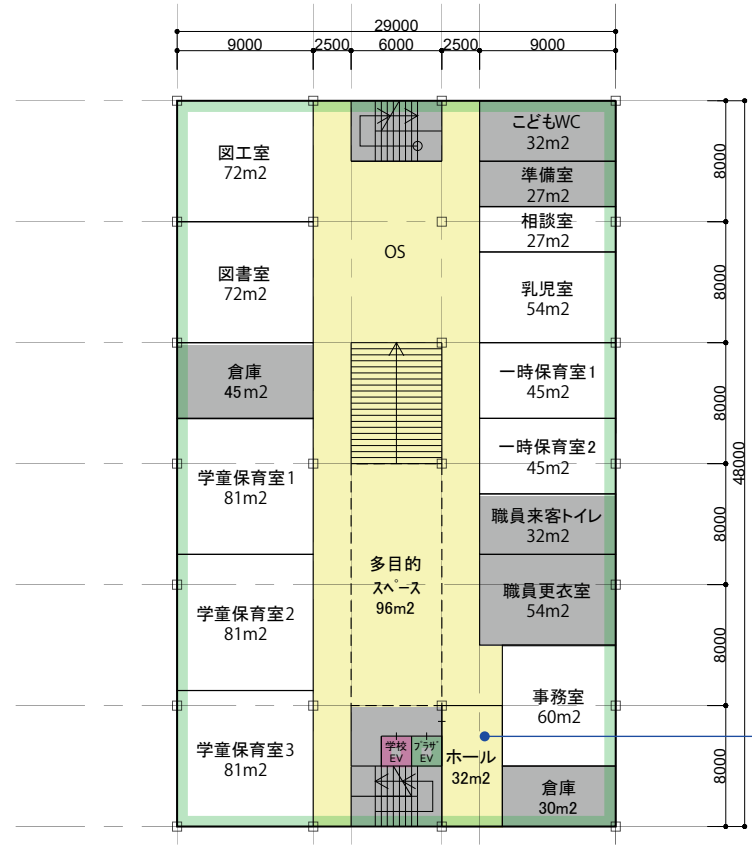
本資料は、基本計画において示す整備後の施設に必要な機能配置や面積等を検証するために、建物全体のプランに諸室の内容を落とし込んだものです。具体的設計内容は、この基本計画における整理を踏まえて、改めて設計の段階（基本設計・実施設計）において確定していきます。

矩形東案② (S=1:500)



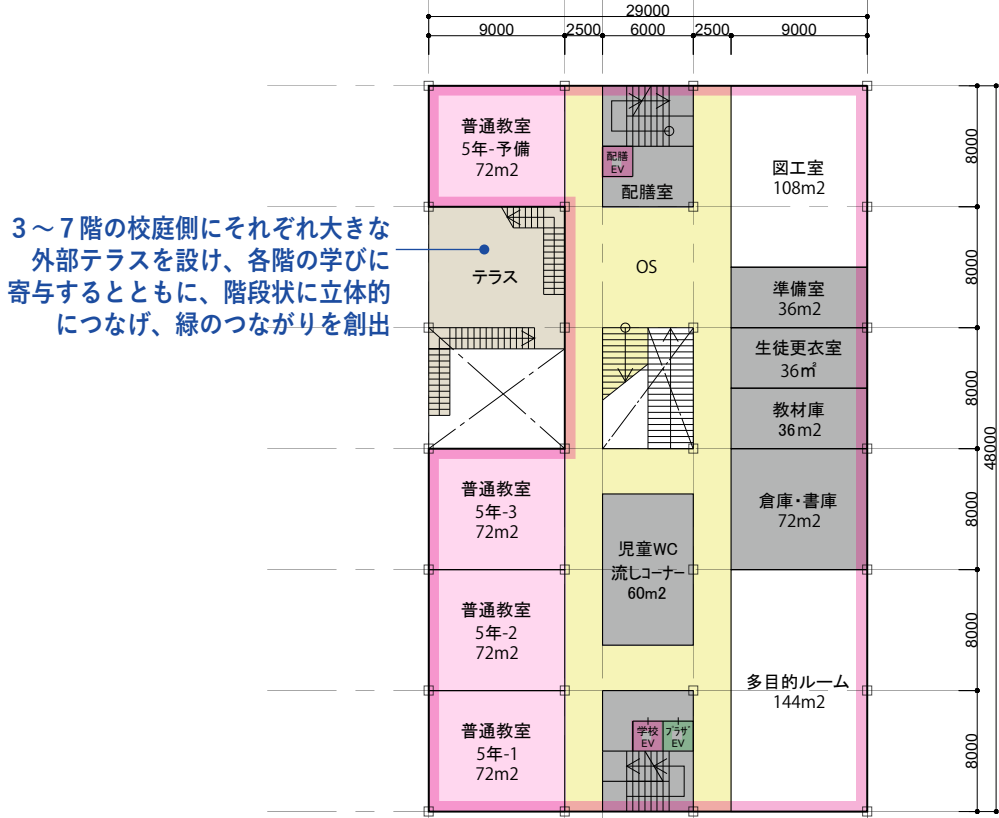
小学校のメディアセンターと
こどもプラザの遊戯室を
階高の高い7Fにまとめ、
アクティビティを確保する

7F



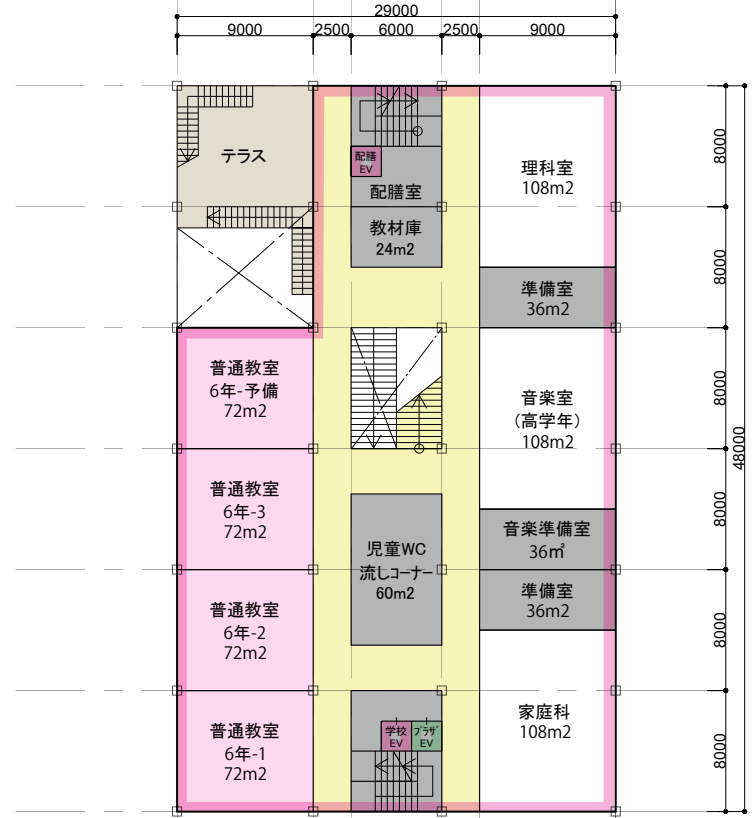
こどもプラザ利用者はEVで
8Fに上り、遊戯室へは1階
下ってアクセスする

8F

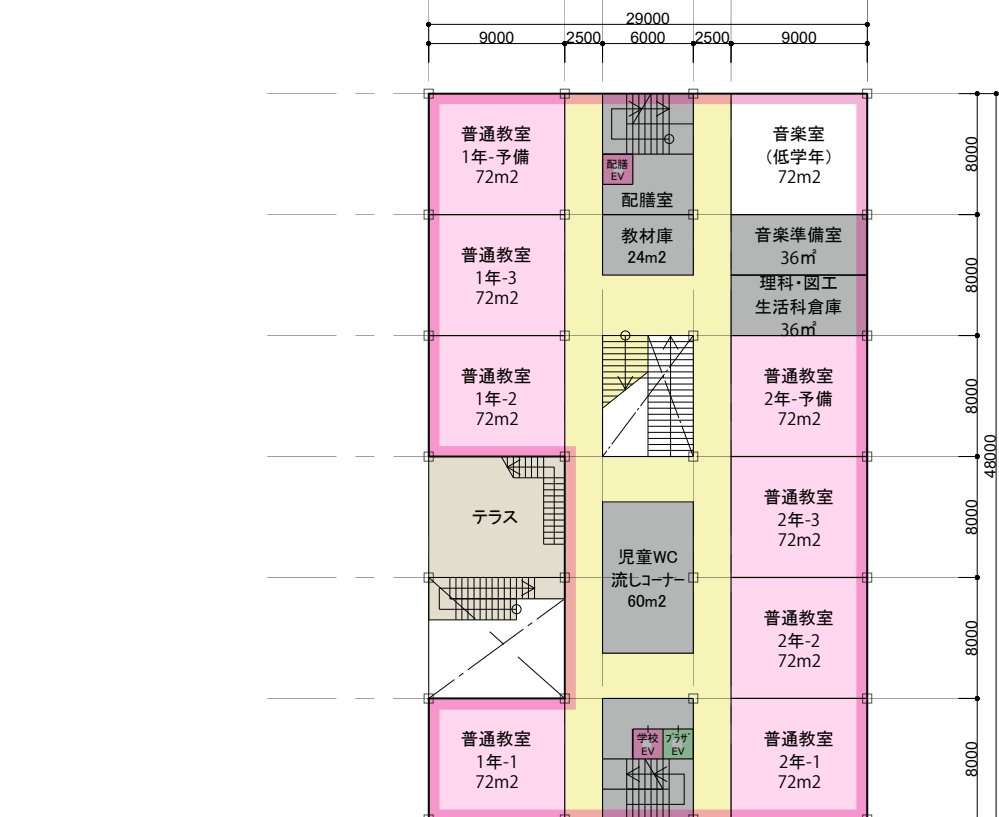


3～7階の校庭側にそれぞれ大きな
外部テラスを設け、各階の学びに
寄与するとともに、階段状に立体的
につなげ、緑のつながりを創出

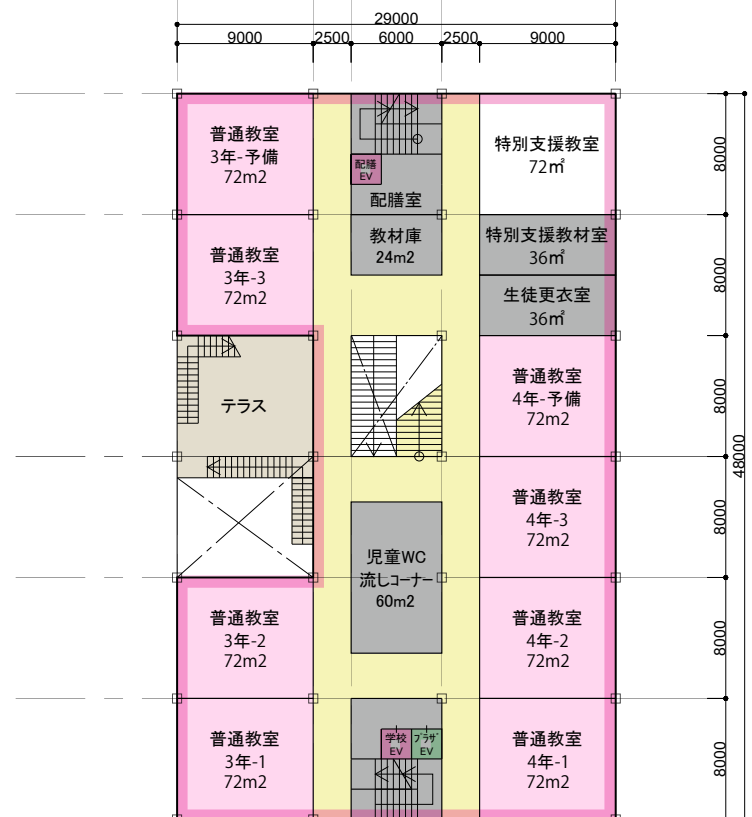
5F
(5年生CR)



6F
(6年生CR)



3F
(1,2年生CR)

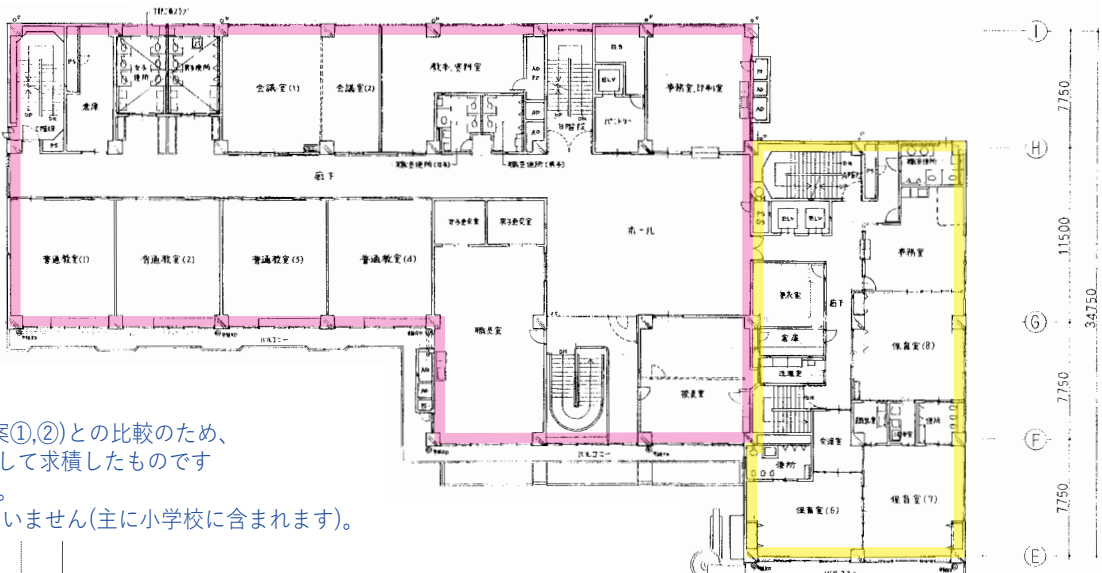


4F
(3,4年生CR)

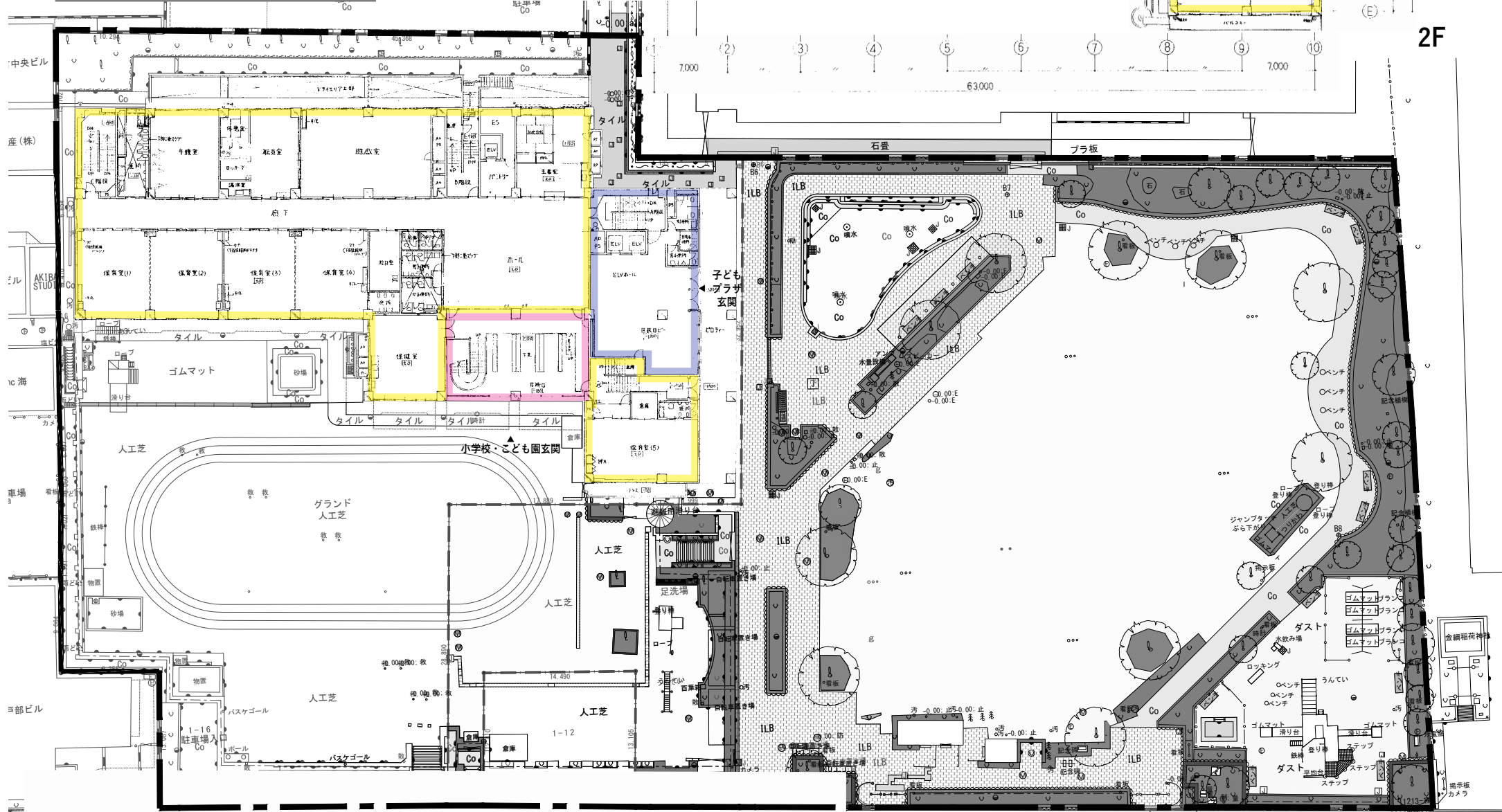
既存施設 (S=1:500)

面積表		既存施設
小学校	7,500 m ²	
こども園	1,700 m ²	
こどもプラザ	1,200 m ²	
地域利用等	1,000 m ²	
公園施設等	200 m ²	
合計	11,600 m ²	

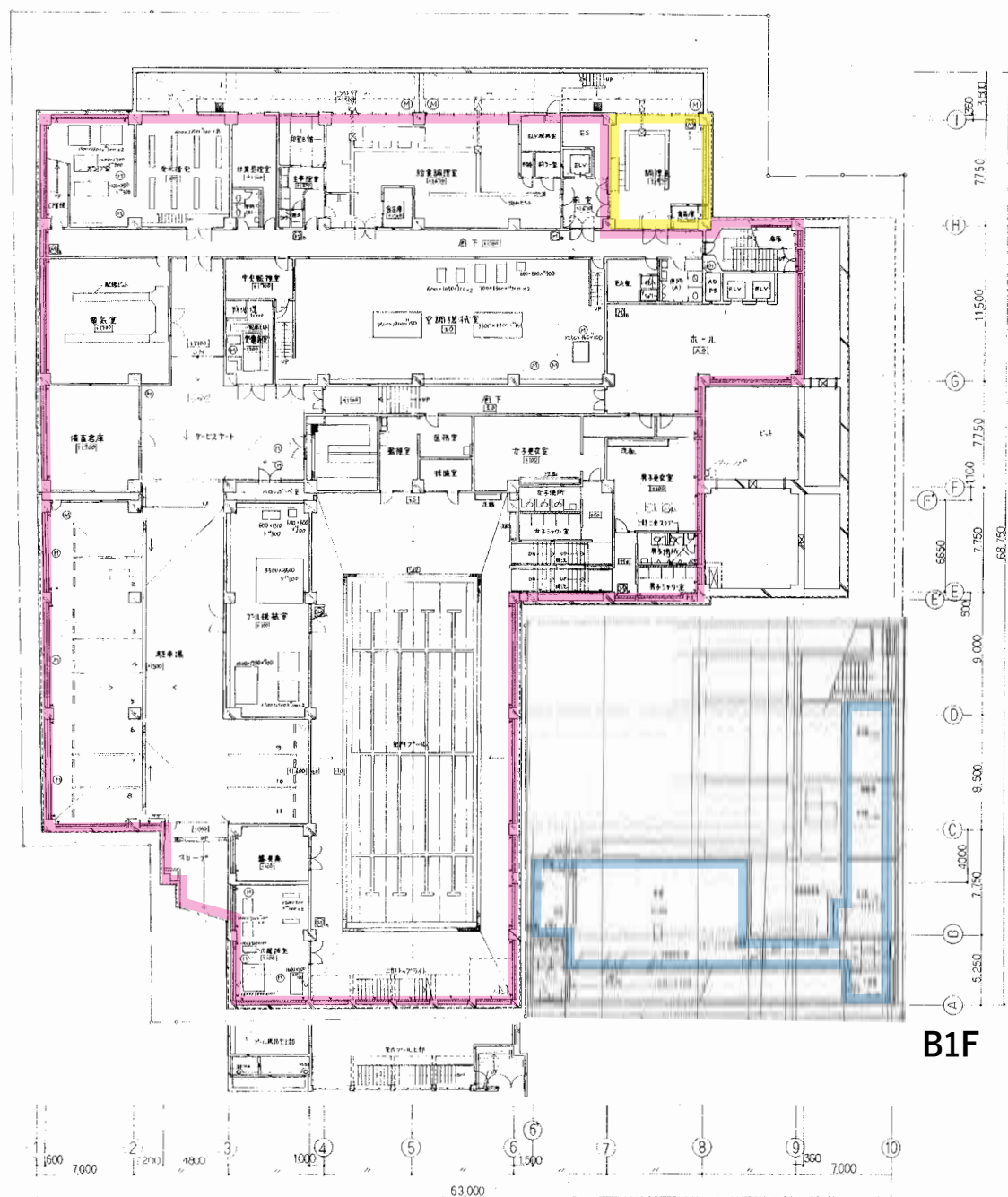
※面積は新施設のプランニング(矩形東案①,②)との比較のため、簡易的にS62年の建物図上で用途分類して求積したものです(実際の延床面積とは一部異なります)。また、概算のため共用部按分は行っていません(主に小学校に含まれます)。



2F

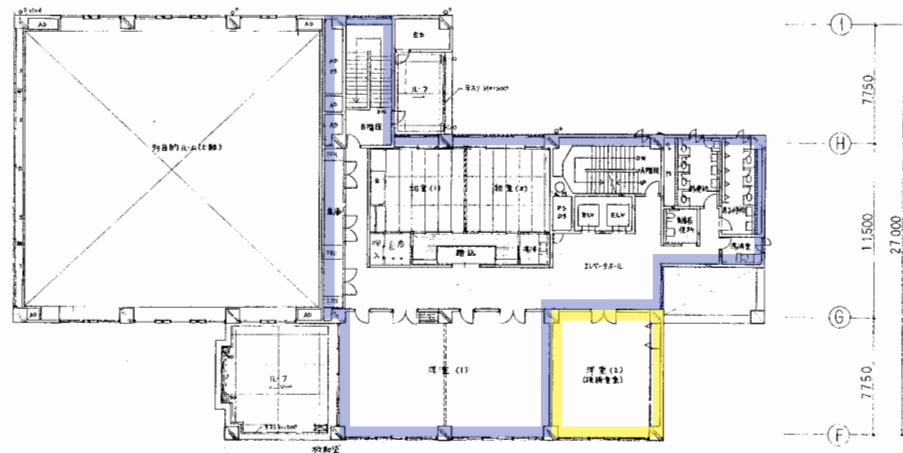


1F

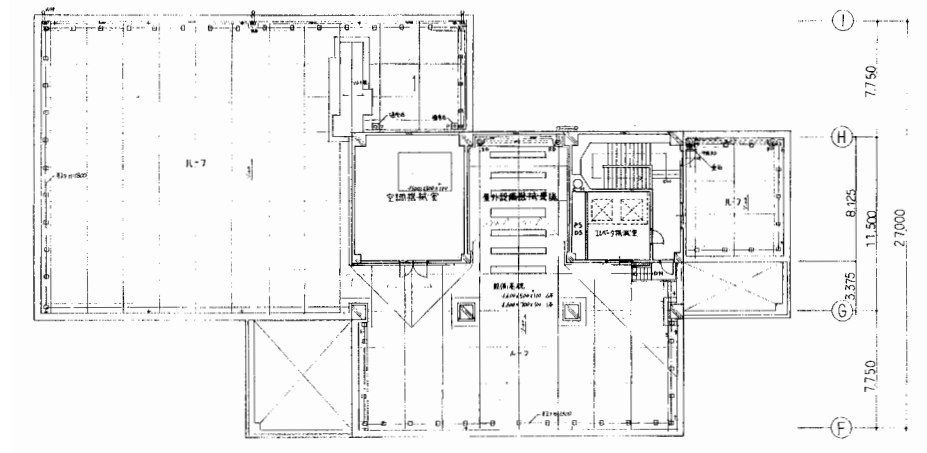
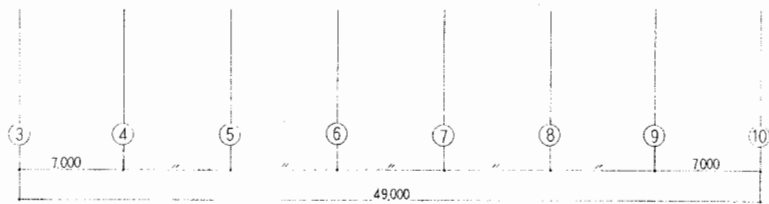


B1F

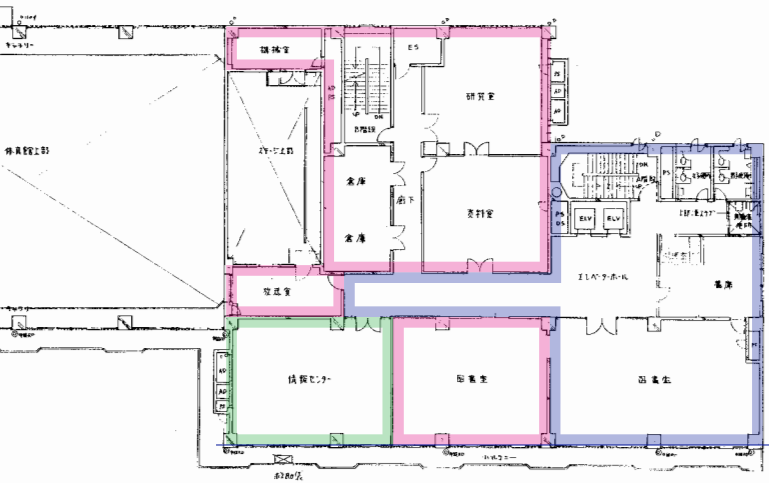
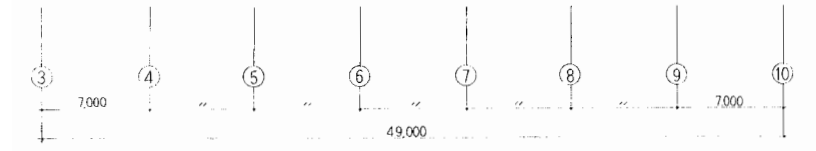
既存施設 (S=1:500)



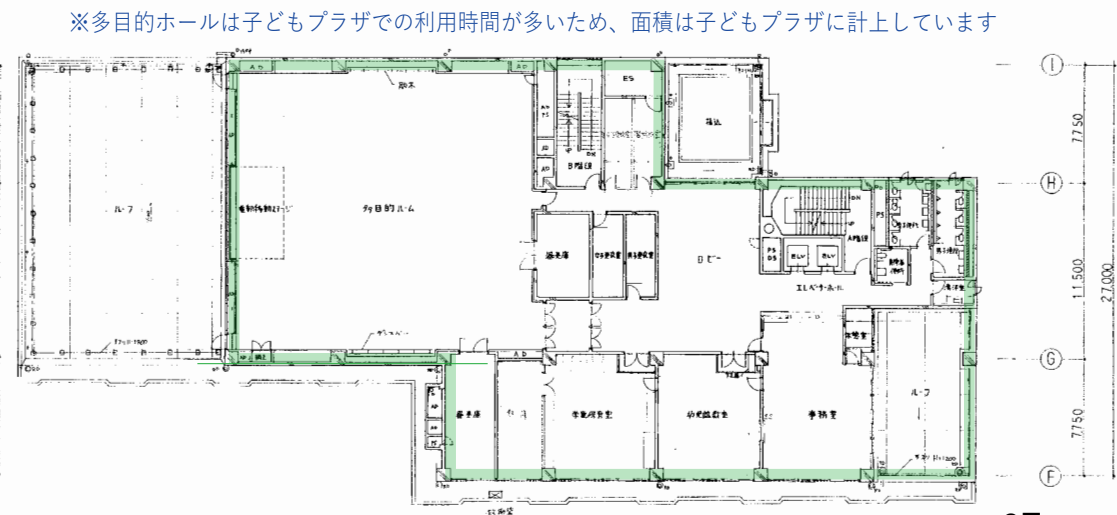
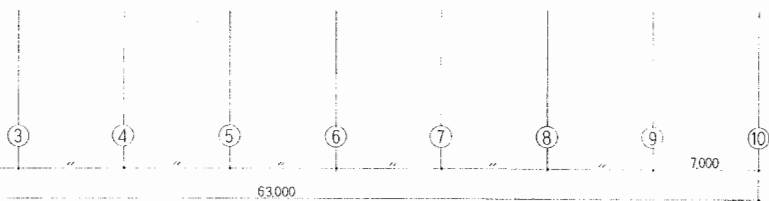
7F



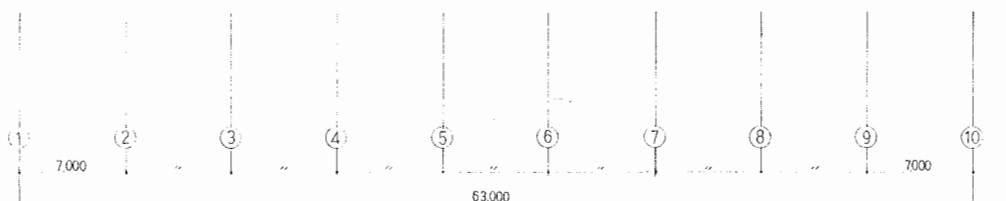
8F



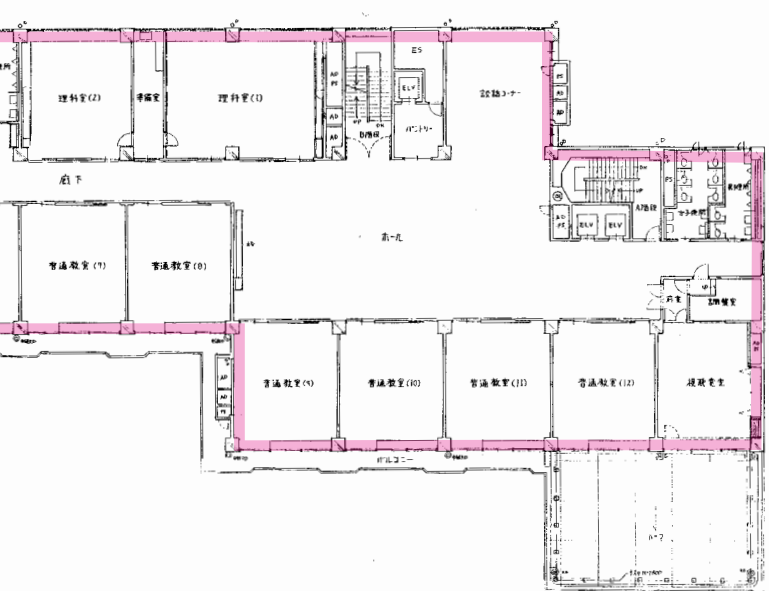
5F



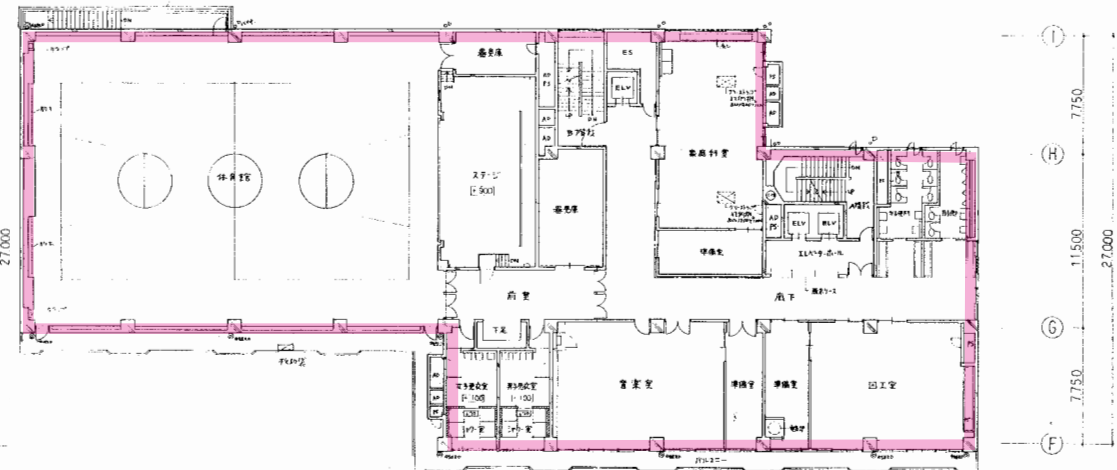
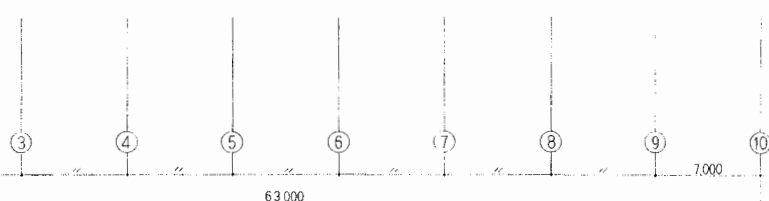
6F



※多目的ホールは子どもプラザでの利用時間が多いため、面積は子どもプラザに計上しています



3F



4F

